

ネイチャー・ウォーク

令和4年6月

2022.6.26 発行

(通巻第341号)

ECO  SAITAMA 公益財団法人 埼玉県生態系保護協会

：部会：自然を歩く会

■5月のネイチャー・ウォーク

鎌倉殿の13人... ではない1人

秩父鉄道武川駅～永田駅

5月22日(日)、今月のネイチャーは秩父鉄道武川駅から出発です。今回は読売新聞に告知記事が掲載されたため、総勢49名という近年最多の参加者となりました！今年の大河ドラマにも登場している「畠山重忠公」の出身とされる深谷市でゆかりの地を巡ります。

記念撮影は、畠山重忠公史跡公園にて。圧巻の人数！





沢山の一般かつ初めての参加者の
方々を前に、稲垣リーダーの朝の挨拶も
気合が入ります。お天気もちょうど
よい薄曇りでいざ出発です。
武川駅の近くで生まれたんだという

方もいらっしかったです！
ほどなく荒川のほとりにでました。空
が広くひらけ、橋の上からは山々もの
ぞみ、気持ちいい！



一気に井椋神社までやってきました。
この神社の裏側に、鶯の瀬公園があり
ます。鶯の瀬と呼ばれる荒川の名所
で、畠山重忠公が増水した荒川を渡れ
ないでいるときに、一羽の鶯が鳴いて
浅瀬を教えてくれたという言い伝えが
あります。

当日は、浅瀬で穏やかな流れの音と、大
きな木の上で（ウグイスではなく）ホオジロ
の元気な鳴き声が聞こえていました。



畠山重忠公史跡公園に到着しました。ここには、馬を背負った重忠公の像と、お墓があり、重忠公の功績等について解説を聞くことができます。



多くの一般参加があったので、事務局から協会の説明と入会の案内を行いました。

すると、参加されていた会員の方が、「会に入ると自然が守れますよ。」と皆さんに呼び掛けてくださるではありませんか！！スタッフ感涙。ありがとうございました！！

帰りは、その名も「重忠橋」を渡りました。この橋は「六堰頭首工」といい、水をせき止めて、熊谷市などの農地に川から水を引く役割があります。魚が堰を行き来できるように魚道も設置されています。



秩父鉄道永田駅で解散です。
皆さんお疲れ様でした。
次回もよろしくお願いいたします！